

学校評価アンケート結果報告

（１）学校評価の観点

例年と同じく「学校運営」「学習活動」「生活指導」「特別活動」「健康・安全」等の観点で、生徒、保護者、地域、教職員に評価アンケートを実施した。

（２）アンケート調査の実施方法

昨年度同様、生徒、保護者、教員に対しては **classi** のアンケート機能を用いて実施し、地域に対しては昨年度同様の **Forms** によるアンケートに加えて、永田町会で調査用紙を配布していただいた。

（３）アンケート調査の時期・回答数

アンケート調査期間は 11 月 20 日～12 月 6 日

回答数は、生徒 757 保護者 391 教員 45 地域 76

（４）評価結果の概要

昨年度の反省を生かして、地域へのアンケート対象を近隣住民のみならず福生市や小中学校にも依頼した。さらに、永田町会の協力を得て、240 枚の調査用紙を近隣住民に配布していただいた。その結果、地域の回答数は昨年度から倍増し、一昨年並みになったものの依然として回答数は少なく(**Forms**43 件、紙 33 件)、アンケート方法については今後も検討が必要であることを痛感した。一方で、生徒の回答率 93%を超えており、昨年度の 72%を大きく上回った。毎年、回答数が増えている保護者の回答率は 48%と昨年度よりも増えたが、まだ過半数の回答を得られていない。

〈生徒の評価〉

学習指導についての質問項目に関しては、1 項目を除いて肯定的な回答が昨年度よりも 3～6 ポイント増加している。唯一 1 ポイント低下したのが「発展的な内容に踏み込んだ授業を受けていると思いますか」という項目である。生活指導についての質問項目に関しては。スポーツ祭の雨天中止の影響があり、行事について肯定的な回答が減っている。遅刻指導や身だしなみ指導については肯定的な回答が増えており、回答率の高さから考えてみると本校の遅刻指導や身だしなみ指導は生徒からは高く評価されているとみてよいだろう。進路指導に関しての、肯定的な回答が昨年度よりも増加しているが、「保護者と連携した指導ができていると思いますか」という項目だけ 1 ポイント減である。学校運営全般についての質問項目に関しても、2 年続けて肯定的な回答が前年度よりも 1～3 ポイント増加している。

〈保護者の評価〉

保護者の回答欄に昨年度から追加した「わからない」という選択肢により、学校への理解度が把握できるようになった。48%の回答率のなかでさらに「わからない」という回答が多かったのは「いじめ問題について適切に対応していると思いますか」という項目と「働き方改革に取り組んでいると思いますか」という項目であり、この2項目については保護者には見えにくいということが読み取れる。一方で、回答者のほとんどが「わからない」という回答をしなかった項目が「本校は学校行事が盛んであると思いますか」という項目と「学校行事を通して、お子様が成長していると感じますか」という項目であり、いずれも肯定的な回答は5ポイント以上減っている。これは生徒の回答と同じくスポーツ祭の雨天中止の影響だと思われる。昨年度に比べて、肯定的な回答が減った項目が全19項目中8項目あり、生徒による評価とは数値上ズレがある。自由意見欄も肯定的・建設的意見と否定的・批判的意見が半々であり、こうした意見に真摯に向き合うことは大事であると思われる。

〈教員の評価〉

学習指導についての「授業で力のある生徒を伸ばす対応は最重点項目であると思いますか」についての肯定的回答が7ポイント減少しており、生徒の「発展的な内容に踏み込んだ授業を受けていると思いますか」という項目の1ポイント減少と連動しているように思われる。一方で「授業で基礎基本の充実是最重点項目であると思いますか」は昨年同様96ポイントであり、生徒の「基礎的な事柄を丁寧に教わっていると思いますか」の93ポイントと連動しているように思われる。生活指導については遅刻指導や身だしなみ指導について肯定的回答が昨年度より4～9ポイント増であり、生徒の回答とは連動しているが、保護者の回答は肯定的な回答が2ポイント減である。進路指導についても「保護者と連携して行われていると思いますか」という項目が5ポイント減であり、これは保護者の回答も5ポイント減で連動している。生徒の回答も1ポイント減であり、この点は改善が必要と思われる。働き方改革については肯定的回答が今年度も増加している。

〈地域の評価〉

地域アンケートは項目の順番を変え、新たに2つの項目を追加した。昨年度より追加した「わからない」という選択肢をみると、回答者の半分くらいが多くの項目に対して「わからない」と回答している。「わからない」という回答が最も少ない登下校のマナーに関しては、昨年度からさらに肯定的回答が12ポイント減って、否定的な回答が3ポイント増加しており、登下校のマナーについては改めて改善の必要を強く感じる。同じく身だしなみ指導も否定的な回答が増えた。身だしなみ指導については、地域(近隣住民)の評価と、生徒と教員の評価に数値上ズレがある。文化祭は、今年度は地域の方々に招待券を配ったが来場者は少なく、文化祭についての肯定的回答は少ない。今回追加したホームページと部活動の2項目については、ホームページを近隣住民はあまり閲覧していない様子が見えるが、部活動が盛んな学校であるということは肯定的にとらえられていることがうかがえた。